

船橋市立リハビリテーション病院 第5次中期目標達成状況評価(案)

1. 採点基準及び評価について

第5次中期目標達成状況の評価にあたっては、各目標ごとの評価を行うものとし、それぞれに4段階の採点を行った。評価および採点の基準は以下の通りである。

【評価】

- S・・・目標が十分達成されている
- A・・・目標が達成されている
- B・・・目標が概ね達成されている
- C・・・目標が達成されていない

※事務局注

【採点の基準】

目標1 在宅復帰率

目標2 市立リハビリ病院へ入院してから退院するまでの日数(平均在院日数)

目標3 リハビリテーション効果(FIM)

疾患全体が

S…目標を達成している。

A…目標値の95%以上で達成している。

B…目標値の80%以上で達成している。

C…目標値の80%未満である。

目標4 入院患者満足度

目標5 外来患者満足度

目標6 訪問患者満足度

＜細項目の採点基準＞

・各目標中の細項目で、目標を達成している…S

・各目標中の細項目が目標値の95%以上で達成している…A

・各目標中の細項目が目標値の80%以上で達成している…B

・各目標中の細項目の実績が目標値の80%未満である…C

＜目標の評価＞

S…細項目がS・Aのいずれかで構成されており、Sの割合がAの割合以上である

A…細項目がS・Aのいずれかで構成されており、Sの割合がAの割合未満である

細項目がS・Aのいずれか及びBで構成されており、S・Aの割合がBの割合以上である

B…細項目がS・Aのいずれか及びBで構成されており、S・Aの割合がBの割合より少ない

細項目がS・A・Bのいずれか及びCで構成されており、S・A・Bの割合がCの割合以上である

C…細項目がS・A・Bのいずれか及びCで構成されており、S・A・Bの割合がCの割合より少ない

目標7 病床稼働率

目標8 経常収支比率

項目の実績値が

S…目標を達成している。

A…目標値の95%以上で達成している。

B…目標値の80%以上で達成している。

C…目標値の80%未満である。

目標9 全職種に対する教育プログラムの実施

目標10 継続的なリハビリテーションサービスの提供体制の構築に努める

目標11 地域住民との良好な関係を築くよう努める

取り組み実施の状況が

S…各年度の行動計画以上の事業を実施した。

A…各年度の行動計画どおりの事業を実施した。

B…各年度の行動計画にある事業は実施回数が少なかった。

C…各年度の行動計画にある事業は実施できなかった。

2. 第5次中期目標達成状況評価

目標1 在宅復帰率 (事業報告書 P27、28)

評価：A

疾患全体は86.4%であり、目標値(疾患全体87.0%以上)の95%以上を達成した。

各項目を見ると、廃用症候群以外の項目で目標に届かなかったものの、高い目標値に向けたアプローチがしっかり行えていたと考えられる。

令和3年度も、より多くの患者が在宅復帰できるように努めていただきたい。

目標2 市立リハビリ病院へ入院してから退院するまでの日数 (P29、30)

評価：S

疾患全体は70.3日であり、疾患全体の目標値(79.0日以下)を10%以上上回る水準で十分に達成した。

令和3年度も引き続き、患者が望む早期の在宅復帰に向けて、在院日数の削減に努めていただきたい。

目標3 リハビリテーション効果(FIM) (P31、32)

評価：S

疾患全体は24.5であり、目標値(24.0以上)を100%達成した。
各項目をみると脳血管系26.8(目標値25.5)、整形外科系23.8(目標値23.0)、廃用症候群16.5(目標値15.0)と高い水準で達成できていた。次年度も引き続き質の高いリハビリテーションの提供を期待する。

目標4 入院患者満足度 (P33～35)

評価：A

各項目において、目標がほぼ達成されていた。

退院後の生活説明、病院案内・掲示、食事において満足度がやや不足した部分はあったものの、それ以外の項目は高い満足度を得ていた。

今後も、入院患者の満足度を維持していただきたい。

目標5 外来患者満足度 (P36、37)

評価：S

各項目において目標が十分達成されていた。

今後も引き続き質の高い外来リハビリテーションを提供し、満足度を維持していただきたい。

目標6 訪問患者満足度 (P38)

評価：S

各項目において目標が達成されていた。

リハビリテーションの満足のみが1%足りなかったものの、その他の項目はすべて高い満足度を得ていた。

今後も引き続き質の高い訪問リハビリテーションを実施し、満足度を維持していただきたい。

目標7 病床稼働率 (P39、40)

評価：A

実績は80.0%であり、目標(95.0%以上)を概ね達成した。

8月に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したことや、紹介先である急性期病院の稼働率の低下等が影響したものと思われる。

今後も引き続き、病床稼働の維持へ向けた取り組みを行っていただきたい。

目標8 経常収支比率 目標 (P41、42)

評価：A

実績は91.3%であり、目標(103.0%以上)を概ね達成した。

新型コロナウイルス感染症のクラスター等による影響があったものの、収入の確保や費用の削減に努めていたものと評価できる。

引き続き健全な病院経営を維持していただきたい。

目標9 全職種に対する教育プログラムの実施 (P43)

評価：A

新型コロナウイルス感染症による影響により、外部学会や研修会への参加は実施できなかったものの、WEBで参加できるものは積極的に参加するなど、教育プログラムの実施に向けての取り組みはされていたものと考えられる。

今後、新たなプログラム、在宅研修の充実に努めていただきたい。

目標 1 0 継続的なリハビリテーションサービスの提供体制の構築に努める (P 4 4)

評価：A

入院患者及びその家族並びに市内の地域リハビリテーション関係者に対する、回復期リハや生活期リハについての勉強会・連絡会議等を開催することはできなかった。

しかしながら、退院後も外来・通所・訪問リハビリテーションサービスを実施するとともに、地域リハビリテーション関係者の紹介・相談・助言を行うなど、退院後の継続的なリハビリテーションの実施が促されていた。

目標 1 1 地域住民との良好な関係を築くよう努める (P 4 5)

評価：C

市民公開講座、患者家族教室やロビーコンサートなどを開催することができなかった。

令和 2 年度のコロナ禍において、入院患者が生活している病院に外部の市民を招くイベント等を実施することは、非常に難しいものであったと考えられる。